

## 【参考】

IMOでは、世界の各地において、研修実施、セミナー開催、コンサルタント実施等の技術協力を行っている。このIMOの技術協力は、各種条約の実施(Implementation)の確保の動きとも相まって年々強化されてきている。<sup>1</sup>

我が国においても海事関係の技術協力を実施してきているが、この技術協力の実施をより一層効果的にするためIMOとの連携をとることが考えられる。このため、今般、IMO東アジア地域のコーディネーターを日本に招聘し、IMOの技術協力に関する東アジア地域における現状、ニーズ及び課題について講演をして頂く。

なお、IMOの技術協力との連携強化は我が国のIMOにおけるプレゼンスの一層の向上に資すると思われる。

「地域コーディネーター」は、IMOが実施する技術協力が地域のニーズに的確に応えたものとなるよう地域に密着した調整を行う役割を担っている。

これは、1990年代に行われたIMOの技術協力に関する改革において、「地方分散化をベースとした新たな実施態様」が戦略的枠組みの一つとして採用されたことを受け設置されたもの。

これまでのところ、次の4つの「地域コーディネーター」が設置されている。

- |                            |         |
|----------------------------|---------|
| ①コートジボアール（西・中央アフリカ（仏語圏）担当） | 1999年設置 |
| ②ガーナ（西・中央アフリカ（英語圏）担当）      | 1999年設置 |
| ③ケニア（東・南アフリカ担当）            | 2000年設置 |
| ④フィリピン（東アジア担当）             | 2003年設置 |

---

<sup>1</sup>金額ベースの実施規模が、1996年におよそ6百万ドルであったのが2005年にはおよそ13百万ドルになるなど概ね倍増している。